

平成24年度 第20回 教育研究評議会議事概要

日 時 平成25年3月28日（木）14:30～16:30
場 所 事務局特別会議室
出席者 別紙のとおり

議 題

1. 国立大学法人福岡教育大学規程の一部改正について (議題1の別紙)
 - (1) 国立大学法人福岡教育大学運営規則（一部改正）
 - (2) 福岡教育大学学則（一部改正）
 - (3) 福岡教育大学附属学校運営規程（一部改正）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、附属学校に新たに教頭職を設置し、各附属学校に教頭又は主幹教諭を置くようにするため、「運営規則」、「学則」及び「附属学校運営規程」を一部改正することについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

2. 学校教育3課程の教員志望及び就職状況の向上策について（継続） (議題2の別紙)

教育学部長から、前回審議を受けて「学校教育3課程の教員志望者及び教員就職者向上策について（案）」に行った修正及び具体的目標数について、資料に基づき説明があった。

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、全学的な実施組織として「教職課程運営委員会」が、カリキュラムにおける各種活動のキャリア支援活動との連携・強化を担うことになっていることについて、同委員会の懸案となっている委員会廃止も含めた業務の整理・見直しに結論を出すものではなく、委員会の在り方については、平成25年度に引き続き検討予定である旨、説明があった。

監事から、タイトルに「教員志望者及び就職者向上策について」とあるが、何を向上させるか曖昧だが、このままの名称でよいのかとの質問があった。

教育学部長から、向上させるべきなのは、教員志望者と就職者の「数」及び「資質」だが、「志望者数」といった表現をすると「数」の向上が一人歩きするので現在のタイトルとしたが、より適切な名称があれば提案いただきたい旨、発言があった。

評議員から、目標数について、以下のような意見等があった。

- ・平成26年度の講座毎の目標数値には、進学者・公務員等希望者数や教育委員会の採用枠を見ると達成不可能と思われるところがある。形式的に高い目標を掲げても達成できないのならばしかたがないので、調整が必要である。
- ・目標数値より予測数が少ない講座はどのような理由があるのか。
- ・数学選修は、卒業予定者が記載されている卒業見込者より少ないので、留年予定者を除いた学生数の80%で予測数を記載している。
- ・国語選修の学生については、教員志望者がそもそも卒業見込者の80%以下であり、現時点で希望する進路を変更させるのは困難なので、出願予測数は現実的な数字として教員志望者の数値を計上している。現在の1・2年生であれば指導により志望者数を増加できるかという問いに対しては、学生本人の意思が大切なので数値的な約束はできないが、指導教員としては教員となってもらうための指導を精一杯努力していく。
- ・美術の中等教育教員養成課程、生涯スポーツ芸術コース及び大学院の学生においては、中等美術教員の採用枠自体が少ないので、これ以上予測数値を上げることは難しい。
- ・美術・技術・音楽・家政などは採用枠が少なく、本学卒業生との競争となっているが、各県

で年度ごとに採用数にばらつきがある。まずは正教員合格を目指し、採用枠の多い他県を受けるといった選択肢もあるので、キャリア支援センターへ問い合わせることで採用情報を細かく把握して、受験指導を行っていただきたい。

- ・教育心理学選修は、目標値の達成は厳しいと思うが、予測数値が上げられないか再度検討する。
- ・福岡県と併願できる他県、私学等の情報を提供して少しでも合格者を増やしていきたい。
- ・中等教育教員養成課程の学生が小学校教員を受験するというように、課程の枠を超えての志望がある場合は、本人の希望を尊重しなければならないが、試験科目が大幅に違うので準備において困難な面もある。個々の学生と指導教員がよく相談した上で進路を決め、各講座が責任を持って試験対策のサポートを行ってほしい。また、それを予測値に反映してほしい。
- ・採用枠等、講座毎の事情を編み込んで、目標数値を各講座で確定する必要がある。
- ・今年度の卒業生は、生涯教育3課程から教員養成課程に定員を移した初年度の学生であった。合格者が増加しなければ、社会的に容認されない。
- ・社会や文部科学省からは、講座・専攻単位等の採用率ではなく、大学全体として見られているので、個々の事情はあると思うが、大学全体で数値を上げるという意識を持ってほしい。
- ・大学院についても出願・合格予測値を確定できないか。
- ・今回は学校教育3課程の向上策ということで策定を進めてきたので、急に大学院に数値的なものを求められるのは唐突感があるので、もう少し議論の時間をいただきたい。

学長から、福岡県教育委員会が主催した平成24年度ふくおか教員養成セミナーにおける本学学生の出席率が、他大学に比べると低かったことについて説明があり、本セミナーへの参加が合格率に大きく影響している実績があるので、キャリア支援センターを中心に情報提供を行い、学生への参加を促してほしい旨、発言があった。

監事から、以下のような意見等があった。

卒業式での一部学生の礼節を見ると、本学は本当に教育現場が求めている人材を養成しているのか疑問である。学生を適切に教育するためには、教員自身が服装・挨拶等の礼節をわきまえ、緊張感を持って教育に臨んでもらいたい。

審議の結果、「学校教育3課程の教員志望者及び教員就職者向上策について（案）」については、タイトルを「学校教育3課程の教員志望者及び教員就職者の向上策について（案）」と変更して了承した。

また、目標数値検討資料については、各講座により①目標数値に照らした選修・専攻の予測値の見直し、②目標達成のための取組のロードマップ作成を4月5日までに実施することが確認された。大学院については、教員志望者及び教員就職者の向上について、常任委員会で本案に準じた議論のうえ、取り組んでいくことが確認された。

その他

1. 人権問題に関する基本方針及び基本計画について

学長から、前回審議了承された「国立大学法人福岡教育大学人権問題に関する基本方針」及び「国立大学法人福岡教育大学人権問題に関する基本計画」が、一部文言の修正の上で平成25年3月26日付で制定されたことについて、資料に基づき報告があった。

また、本学講演会における人権問題に関する調査結果報告・処分について、昨日報道各社へ説明を行った旨、報告があった。

2. 次回開催日程について

次回の会議を、平成25年4月19日（金）14：30～、事務局特別会議室で開催することとした。

説明資料等

- | | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 議題 1 の別紙 | <ul style="list-style-type: none">・ 国立大学法人福岡教育大学運営規則新旧対照表・ 国立大学法人福岡教育大学学則新旧対照表・ 国立大学法人福岡教育大学附属学校運営規程新旧対照表 |
| 議題 2 の別紙 | <ul style="list-style-type: none">・ 学校教育 3 課程の教員志望者及び教員就職者向上策について（案） |
| 議題 2 の別紙 | <ul style="list-style-type: none">・ 「学校教育 3 課程の教員志望者及び教員就職者向上策について」の目標数
検討資料 |
| 議題 2 の資料 | <ul style="list-style-type: none">・ 平成 2 4 年度ふくおか教員養成セミナー（大学別）出欠等状況 |
| その他の資料 | <ul style="list-style-type: none">・ 国立大学法人福岡教育大学人権教育の推進に関する基本方針・ 国立大学法人福岡教育大学人権教育の推進に関する基本計画 |